

- 実施主体 新宮牧野組合、阿蘇市公民館内牧分館、内牧小学校
- 実施場所 新宮牧野内
- 実施期間 令和元年10月8日～令和元年10月9日



### <背景・ねらい>

新宮牧野組合、阿蘇市公民館内牧分校、内牧小学校等と連携・協力し、草原環境学習の保護等の体験学習を通じて、草原を守る担い手づくり、又地域の文化伝承を行う活動を目的とする。

### ■実施概要

○実施日：令和元年10月8日～10月9日（1泊2日）

○対象：内牧小学校4年生（58名）

○実施内容：

- ・新宮牧野組合、阿蘇市公民館分館、地域住民の支援者指導の下に、草泊まりを13基作りあげた。
- ・夜はキャンプファイヤー、夜空の観察など。また、子ども達全員草泊まりに宿泊体験した。
- ・2日目は、馬とのふれあい、乗馬体験。
- ・地域住民による講話（阿蘇の動植物の生態系、牛馬との繋がりを通じての草原の歴史等）。
- ・グリーンストックより、紙芝居にて草泊まりの歴史を学ぶ。



草泊まりづくり

### ■実施体制

- ・内牧小学校（4年生）58名
- ・教職員8名、保護者（延べ人数33名）
- ・新宮牧野組合員、阿蘇市公民館内牧分館、地域住民（延べ人数59名）
- ・グリーンストック2名
- ・場所提供 夢大地グリーンバレー2名
- ・合計 延べ人数 162名



集合写真

### ■成 果

- ・草泊まり作成13基
- ・竹割りの方法、竹の使い方、縄の結び方等、指導者によく聞きながら進め、事故なく無事に終了。
- ・草泊まり宿泊体験、夜空の観察、キャンプファイヤー等。
- ・地域住民による講話（牛馬との繋がりを通じて草原の意義を学ぶ）

### ■実施者の感想

- ・9月～10月は台風等の天候不順により、日程が定まらなく支援者への連絡等で苦労した。
- ・体験活動の中で、子ども達の生き生きとした笑顔が印象的であった。
- ・この阿蘇の草原を守る担い手作りにおいては、着実に進み、草原保全・再生への貢献度は年ごとに向上してきたと思う。
- ・体験した子ども達が、阿蘇の素晴らしさを知り、多数の子ども達がこの阿蘇に残り大自然と環境を守ってくれることを望む。また、地域住民も一体となって草原保全環境作りに協力して行きたい。そしてこの体制で末長く応援していきたい。